

冬の愉しみ

新野^{にいの}祐子

画帳よりこぼるる瀬音枯野人

中村哲忌シダローズのリース耀う

初日さすたまげぼっちの猫の眼に

雪女立ち往生の車列より

核廃絶できぬ訳訊く冬の母

韓流に嵌まる友より寒卵

冬夕焼イブン・バットウータの旅の果て

鳥たちのすこし近くへ雪卸

合格と考^{ちが}の声雪搔き進む

厳冬の年ごと殖ゆる愉楽かな